

地域ぐるみの農業経営を目指して

農事組合法人 小原営農

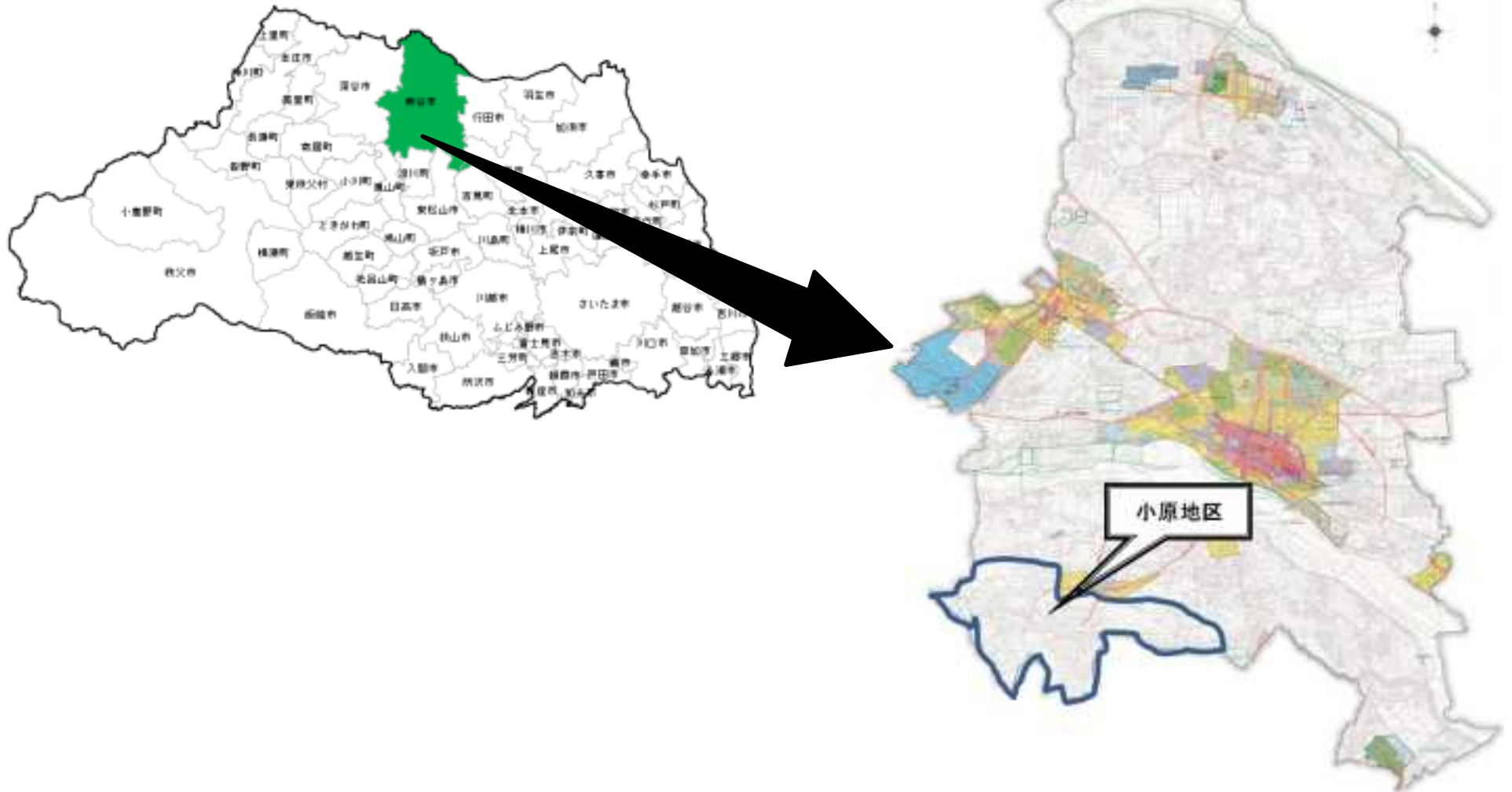
専務理事 木村 進

1 地域農業の概要

(1) 小原地区

荒川の南、熊谷市の南西部に位置

熊谷市



(2) 用水はため池が主、区画は30a ~ 10a、
谷津田と畑が多い。



(3) 水稻、麦、大豆のブロックローテーションを実施

(4) 農家戸数390戸

(5) 農地面積377ha【田117ha、畑260ha】

(6) 主な作物

水稻63ha・小麦56ha・大豆46ha

栗、野菜、ブルーベリー 等

2 地域農業の課題

地域農業に関するアンケート調査結果から

現 状

- (1) 担い手の高齢化率
70歳以上の割合 31%
5年後には50%以上
- (2) 拡大志向農家が少ない
拡大志向農家 4%

課 題

担い手の確保が困難
近い将来、遊休農地が増加

3 法人化への経緯

なぜ法人化を検討したのか？

(1) 担い手を確保したい

(2) 耕作が続けられる体制を確保したい



法人化を目指した

4 法人の概況

(1) 設立登記 平成26年12月22日

(2) 役員体制 理事7人、監事2人

(3) 組合員 85人

(4) 作付予定面積

水稲40ha、小麦30ha、大豆6ha、野菜1ha

組合員が水管理・畦畔管理等を行い、農地を守る意識を維持。

平成26年12月14日 創立総会



5 農地中間管理事業の導入

(1) 導入した理由

ア 法人への農地の集積・集約を考えた

イ 機構集積協力金交付の可能性により
集積・集約を促した

(2) 法人設立・事業導入に当たっての経緯

ア 担い手の合意形成 20回

イ アンケートの実施 1回

ウ 地区説明会の開催 6回

エ 全体説明会の開催 2回

(3) 農地中間管理事業の実績

ア 平成27年6月19日から賃貸開始

イ 水田 44.5ha

(4) 今年の営農状況

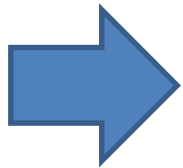


6 これからの目標

農地中間管理事業を活用して

(1) 水田の更なる集約・集積

(2) 畑の集積・集約



地域農業の1農場化を目指す

御清聴ありがとうございました。

